



賀詞交換会での戸部氏の講演（上）と懇親パーティー風景

新春恒例の賀詞交歓会は、去る一月十三日（金）大阪東急ホテルにおいて盛大に催されました。当日は、組合関係の四十名余が三時に勢揃い、菅本理事長の年頭挨拶を以って第一部から開会。つづいて表彰式に移り、各社より推薦をうけた永年勤続者六名、優秀功労者四名が受彰、列席全事業主から祝福をうけました。



第二部からは、協力会員や登録業者も加わり、新春第三部の始まる六時頃には参会者も六十余名に達し大宴会場に席を移して懇親パーティを開宴。来賓代表をわざらわし「異業種交流の成功実例」の講解を挙げ、益々厳しさのつる中を示された次第。

第三部の始まる六時頃には参会者も六十余名に達し大宴会場に席を移して懇親パーティを開宴。来賓代表をわざらわし「異業種交流の成功実例」の講解を挙げ、益々厳しさのつる中を示された次第。

マイクを奪い合つての初歌いで、健康と開運を占いました。

未筆ながら特にご臨席賜りました次の各位に、紙上をかりて厚礼を申し上げます。

顧問・大東吾一府会議員

橋本リヨ氏告別

式

大阪空調衛生工

業協会安全大会

に理事長出席

31日

ダクト板金作業

試

30日

の大阪府実技試

31日

橋本リヨ氏告別

式

大阪空調衛生工

業協会安全大会

に理事長出席

29日

検定会場設営

30日

常務会 教厚委

14日

検定委員会

6日

常務会 教厚委

7月1日

工資委

4日

開技センター訪

問、打合せ

6日

官公需協議会 浜

14日

功労役員を中心

16日

官公需協議会 浜

6日

常務会 金融審

7月1日

日夕連の会計監

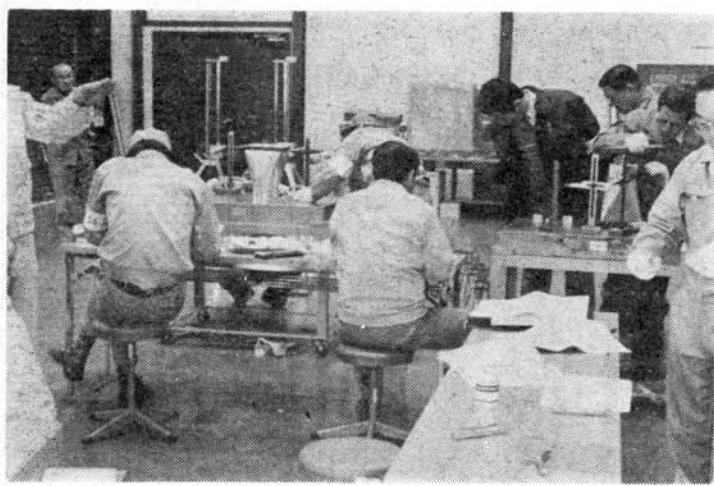
6日

官公需協議会 浜

7月1日

常務会 金融審

6日



測定に取組むダクト板金の技能検定風景

ダクト工業協同組合連合会第3回総会は昨秋10月16日、岐阜県下呂温泉のホテル水明館で会員六組合・50余名の出席で開催。理事会上程の8議案を慎重審議の末、原案通り可決承認した。総会は同日午後3時から三井清廉氏の司会ではじめられ、須藤領二理事が開会を宣言。業界物故者に一分

ダクト板金の技能検定を実施

昨年度は改訂初の検定となつたため前期に実施された建築板金技能士の検定は本年度は既に第2回目となつたこともあり再び前期実施に今後定着することになり、実技試験は前回同様、摂津市の関西技能開発センターを会場に昨夏7月30日及31日に亘り酷暑の中21名が日頃の技を競い無事終了しました。実施の模様は前回に準じて同様であります。

世界話さった係員は次の方々です。見事合格の1級35名、2級10名の氏名は末尾

ご参照。

◎検定委員（順不同、略敬称）  
木村勝美、小川鐵夫、野村義雄、竹中慶徳、濱田政義、山中武信、花松操、射場義人。

◎補佐員及び事務員  
孝、堀井一夫、北村信一郎、岩本又五郎、植草宏、竹中一郎、牧純、松田康治、北中尾重行、安西章夫、河合重男、南良夫、住田隆、東幸生、三代博、間島広夫、島上浩一、大谷庸三、小島正、波谷清治、柳川保和喜川合崇義、池永繁治、近藤正数。

主な事業  
出資金二、三三五万円

(1)共同購買事業  
副資材及び工具類を共同購入するもので、組合の経済事業の主柱

(2)共同受注事業

大広間に席を移し懇親宴会が行われた。

なお任期満了による全役員の改選は次のように決定をみた。

会長 菅本 博（関西）

副会長 小山清一（群馬）

専務理事 村上章（名古屋）

木内 浩（茨城）

（3）共同金融事業

組合員に対し事業資金の転貸（長期、短期）及

び手形割引を行う

（4）教育情報事業

組合員の事業に関する経営及び技術の向上、普及

及び研修を行うもの

（5）福利厚生事業

組合員の親睦を図ること

もに慶弔を行ふもの

（6）協約締結事業

組合員の経済的地位の改善のために団体協約を行

うもの。

（7）その他

（8）その他

（9）その他

（10）その他

（11）その他

（12）その他

（13）その他

（14）その他

（15）その他

（16）その他

（17）その他

（18）その他

（19）その他

（20）その他

（21）その他

（22）その他

（23）その他

（24）その他

（25）その他

（26）その他

（27）その他

（28）その他

（29）その他

（30）その他

（31）その他

（32）その他

（33）その他

（34）その他

（35）その他

（36）その他

（37）その他

（38）その他

（39）その他

（40）その他

（41）その他

（42）その他

（43）その他

（44）その他

（45）その他

（46）その他

（47）その他

（48）その他

（49）その他

（50）その他

（51）その他

（52）その他

（53）その他

（54）その他

（55）その他

（56）その他

（57）その他

（58）その他

（59）その他

（60）その他

（61）その他

（62）その他

（63）その他

（64）その他

（65）その他

（66）その他

（67）その他

（68）その他

（69）その他

（70）その他

（71）その他

（72）その他

（73）その他

（74）その他

（75）その他

（76）その他

（77）その他

（78）その他

（79）その他

（80）その他

（81）その他

（82）その他

（83）その他

（84）その他

（85）その他

（86）その他

（87）その他

（88）その他

（89）その他

（90）その他

（91）その他

（92）その他

（93）その他

（94）その他

（95）その他

（96）その他

（97）その他

（98）その他

（99）その他

（100）その他

（101）その他

（102）その他

（103）その他

（104）その他

（105）その他

（106）その他

（107）その他

（108）その他

（109）その他

（110）その他

（111）その他

（112）その他

（113）その他

（114）その他

（115）その他

（116）その他

（117）その他

（118）その他

（119）その他

（120）その他

（121）その他

（122）その他

（123）その他

（124）その他

（125）その他

（126）その他

（127）その他

（128）その他

（129）その他

（130）その他

（131）その他

（132）その他

（133）その他

（134）その他

（135）その他

（136）その他

（137）その他

（138）その他

（139）その他

（140）その他

（141）その他

（142）その他

（143）その他

（144）その他

（145）その他

（146）その他

（147）その他

（148）その他

（149）その他

（150）その他

（151）その他

（152）その他

（153）その他

（154）その他

（155）その他

（156）その他

（157）その他

（158）その他

# 官公需と組合の共同受注Q&A

## 官公需法

# 受注機会の増大はかかる 画期的な中小企業施策

官公需適格組合に対するご理解、  
ご支援をお願いします。

大阪府中小企業団体中央会  
会長 田中 鋼三

中小企業官公需適格組合は官公需を共同受注し、これを完全に実行し得る十分な体制が整備されている組合であることを中小企業庁が証明した組合ですが、中央会は適格組合の証明申請書の記載事項について事実と相違ないかどうかの事実確認を行っています。

現在全国で約340組合が官公需適格組合の証明を受けしており、大阪においては20余組合が官公需の受注活動を展開しておりますが、その受注実績はまだ充分とはいえません。

官公需適格組合に対する発注増大をお願いします。

わが国経済の健全な発展を図るために、中小企業の振興をおろそかにしては到底望めないことは論を待たない所で、政府、与党があらゆる中小企業対策を、きめ細かく、真剣に講じていることでも明らかであります。

およそ、国や都道府県、また市町村は、商品、工事類の最大の買手で、その額はござ承知の通りで、私共においても安定性においても年を追つてこれらの発注方針、内容に、改善と変化が進んで参りましたことはご承知の通りで、私共にとっては喜ばしい限りであ

ります。

このような時代の流れに沿って、政府は十八年前に遂に「官公需法」を制定し、この中で、中小企業へ

の受注機会の増大を公約し努力していることはご承知の通りです。同法では、ただ

抽象的に中小への発注の大をうたうに止まらず、注

目すべき事は

①協同組合等の活用

②銘柄指定の禁止

③分割発注の推進

④中小企業者からの要望

等々が明記されていること

です。

このためか、ここ十年程

の間に、多くの組合で受注

聽取

等々が明記されていること

です。

そこで本号ではこのテー

マを特集した次第です。題

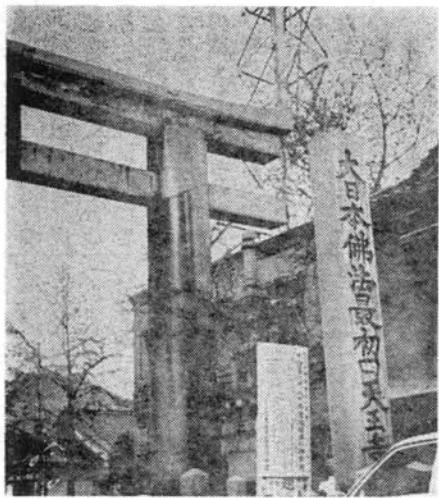
目

申せましょう。

そこで本号ではこのテー







賀状受けも一わたり終わ  
つた頃、思いもかけぬ「老  
人クラブへの入会の樊め」  
が舞い込んで、はじめて今  
年は還暦を迎えるのだなと  
いう実感を持たされた正月  
となつた。

昨年まで現役のつもりで  
働き通した私には、この一  
直のところ「やつと……」  
ではなく「もう……」の思  
いを以て読み直した。「め  
でたさも中ぐらくなり還暦  
の春」か。

年賀の子供達は早速に祝  
賀会の予告を持って来てく  
れたが、聞くところでは元  
祖の中国ではもうこの風習  
はすれたそだから、い  
ささかのテレを見るが、シ  
アラ素直に受けることにし  
よう。

甲子のネズミ年は六〇年  
でめぐる干支の初め、つま  
り正真正銘の元旦に当ると  
いう古来の縁起話も罪がな  
くてほほえましい。一から  
出直す新生、船出のめでた  
い節目の年か。

この一年を、次の六〇年  
間の日本の生き方、否、世  
界の二世紀を決める展望  
の持てる、輝ける年として  
欲しいと年頭に祈ること切  
なり。

昨年のクリスマスにレー  
ガソル米大統領をして「平和

人が舞い込んで、はじめて今  
年は還暦を迎えるのだなと  
いう実感を持たされた正月  
となつた。

昨年まで現役のつもりで  
働き通した私には、この一  
直のところ「やつと……」  
ではなく「もう……」の思  
いを以て読み直した。「め  
でたさも中ぐらくなり還暦  
の春」か。

年賀の子供達は早速に祝  
賀会の予告を持って来てく  
れたが、聞くところでは元  
祖の中国ではもうこの風習  
はすれたそだから、い  
ささかのテレを見るが、シ  
アラ素直に受けることにし  
よう。

甲子のネズミ年は六〇年  
でめぐる干支の初め、つま  
り正真正銘の元旦に当ると  
いう古来の縁起話も罪がな  
くてほほえましい。一から  
出直す新生、船出のめでた  
い節目の年か。

この一年を、次の六〇年  
間の日本の生き方、否、世  
界の二世紀を決める展望  
の持てる、輝ける年として  
欲しいと年頭に祈ること切  
なり。

昨年のクリスマスにレー  
ガソル米大統領をして「平和

人が舞い込んで、はじめて今  
年は還暦を迎えるのだなと  
いう実感を持たされた正月  
となつた。

昨年まで現役のつもりで  
働き通した私には、この一  
直のところ「やつと……」  
ではなく「もう……」の思  
いを以て読み直した。「め  
でたさも中ぐらくなり還暦  
の春」か。

年賀の子供達は早速に祝  
賀会の予告を持って来てく  
れたが、聞くところでは元  
祖の中国ではもうこの風習  
はすれたそだから、い  
ささかのテレを見るが、シ  
アラ素直に受けることにし  
よう。

甲子のネズミ年は六〇年  
でめぐる干支の初め、つま  
り正真正銘の元旦に当ると  
いう古来の縁起話も罪がな  
くてほほえましい。一から  
出直す新生、船出のめでた  
い節目の年か。

この一年を、次の六〇年  
間の日本の生き方、否、世  
界の二世紀を決める展望  
の持てる、輝ける年として  
欲しいと年頭に祈ること切  
なり。

昨年のクリスマスにレー  
ガソル米大統領をして「平和

## ニユーラー老人のたわごと

以外には何のプレゼントも  
欲しくない」と言わせたよ  
うに、世界はまさに、いつ  
か核戦争が起きても不思議で  
ないような緊張感に満ちた  
不安定な国際情勢で、日本  
も又いつの間にか組み込みま  
る。

東戦争。福井大地震。A  
級戦犯絞首刑。

昭和三五年ソ連人工衛星  
一号打上げ。日米安保条  
約採択。チリ地震。所得  
倍増計画スタート。

昭和四七年沖縄本土復帰  
等々が見られる。正月  
身近な事で言えば、正月  
に里帰りした娘と孫は、幼  
稚園が始まると申して今年  
は早々と引き揚げた。

子供達にとって正月の樂  
しみは僅かにお年玉だけに  
なり、昔のよう正月特有  
の風物詩、殊に野外での遊  
び等はもう昔語りとなつて  
しまったことは悲しく、惜  
しまってならない。

小学生ともなると、お年  
玉に貰った千円札を数える  
ことだけが正月の唯一の樂  
しみだと言うから、なんだ  
かわびしさを感じる。オト  
ランスに不安顔の大人達。  
こんな光景がいつまで続く  
のだろうか?

ソジ分が抜けると、真新し  
い預金通帳を手にした子供  
のえびす顔とは逆に、つつ  
ましい家計の奇妙なアンバ  
ン。

しみだと言ふから、なんだ  
かわびしさを感じる。オト  
ランスに不安顔の大人達。  
こんな光景がいつまで続く  
のだろうか?

A、昔は体を動かせと求め  
たが、これからは首から  
上、つまり考えながら働

B、急速な景気回復の基調  
にあり、やりがいのある

年になろう。

C、余裕のない時代だから  
こそ、あえて心にはゆと  
りを持って。

D、肩の力を抜き、筋肉の  
筋肉で、あらゆる変化に  
対応せよ。

E、効率よく働いて、高給  
与で生活を楽しめ。

F、経営環境の好転は望め  
ぬ。しかし相手はもつと  
苦戦している。ETC

松の内だけは例年、全国

紙を駆け買って読むことに  
しているが、何故か今年の

紙面はもの足りなかつた。

その中で本年も、九〇才

の神さまの快氣炎として  
A紙掲載の松下翁との対談

して、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

F、経営環境の好転は望め  
ぬ。しかし相手はもつと  
苦戦している。ETC

松の内だけは例年、全国

紙を駆け買って読むことに  
しているが、何故か今年の

紙面はもの足りなかつた。

その中で本年も、九〇才

の神さまの快氣炎として  
A紙掲載の松下翁との対談

して、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わねばなら  
ぬ世代がこれで明日が見え  
るだろうか。親として大人  
として、深刻に考えさせら  
れる」とはなかろうか。

世紀的な一般風潮なのだ  
と成程、思い当たる事件  
らぬのは、私一人の杞憂で  
あれば幸いである。

次代を継いで貰わ